

11月議会報告会

社会文教建設常任委員会



委員会所属議員

- | | |
|-------|------|
| ・委員長 | 黒木章三 |
| ・副委員長 | 丸木一哉 |
| ・委員 | 西村徳丸 |
| ・委員 | 知念豊秀 |
| ・委員 | 黒田浩之 |
| ・委員 | 高野 至 |
| ・委員 | 島田 勝 |

管内視察報告（7／8）

- ①鬼丸市営住宅
- ②ドリームフューエルセンター
- ③千怒小学校

管外行政視察（10／29～31）

- ①島根県浜田市
- ②広島県呉市

管内視察報告… 7 / 8 (月)

・鬼丸市営住宅

昭和35年建築／木造平屋建て9戸／5300m²／29戸／当初は建て替えだったが、買い物不便地なので、計画はなくなった。道路は市道ではなく、敷地内道路



ドリームフューエルセンター

ゴミの50%は水分／
生石灰を混ぜる／100℃
～110℃の蒸気の熱で乾
燥させる／RDFは3600kcal
／毎日約20tのゴミ
を処理し、約14tの
RDFができている。



千怒小学校

全校166名／6クラス／
3年31名・5年19名／
タクシー通学28名・全体の
17％／

校舎は昭和53年建築・築
42年／体育館は平成8年建
設（連絡通路が欲しい・洋
式トイレの設置）



管外行政視察

期 日：10月29日（火）～31日（木）

視察地：

島根県浜田市
広島県呉市



島根県浜田市

- 面積 ・ ・ ・ 6 8 9 . 6 0 km² (津久見市の約8.7倍)
- 人口 ・ ・ ・ 53,669人 (津久見市の約3.1倍)
- 世帯数 ・ ・ 26,294世帯 (津久見市の約3.2倍)
- 議員数 ・ ・ ・ 24人

※数はいずれも令和元年8月末現在

視察内容

「シングルペアレント就労人材育成支援事業」

概要：浜田市に移住して介護事業所で研修を受けつつ勤務する。

目的：①ひとり親の支援
②介護人材の確保
③定住人口の増加

支援内容

- 給与・・・月額15万円以上（事業所より支援）
- 養育支援金・・・1世帯につき月額3万円
（浜田市より支援）
- 家賃助成金・・・1世帯につき家賃月額の1/2（上限2万円）
（浜田市より支援）
- 自動車の提供・・・中古自動車を無償提供
（自動車販売会社より支援）
- 一時金（支援金）・・・事業所から30万円（引越し代）
- 継続就労一時金・・・5年経過時に100万円
（事業所より支給）

事業の課題

・研修生に対するケアの充実

夜勤の際の子どもの世話

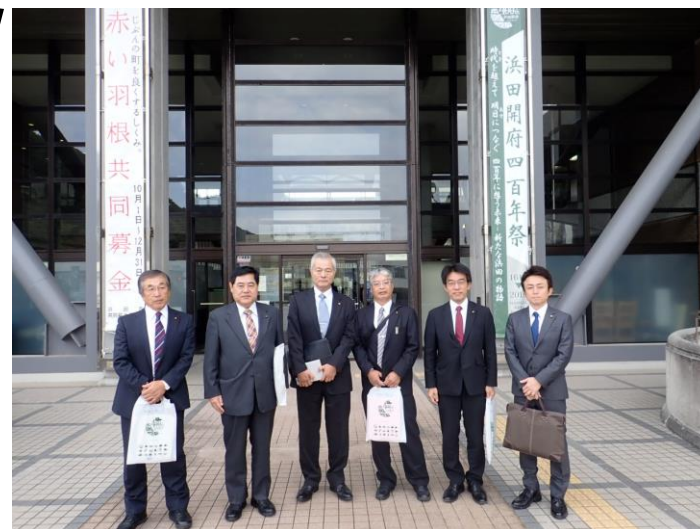
支援終了後の定住促進

・公平性

市内在住の一人親との支援の格差

・事業5年経過後の支援策をどうするか

地方創生交付金が令和2年度で終了する



広島県呉市



- 面積 ・ ・ ・ 3 5 2 . 8 1 km²（津久見市の約4.4倍）
- 人口 ・ ・ ・ 222,626人（津久見市の約12.8倍）
- 世帯数 ・ ・ 110,216世帯（津久見市の約13.5倍）
- 議員数 ・ ・ ・ 32人

※数はいずれも令和元年8月末現在

視察内容

(1) 「子どもまちづくり事業」について

(ゆめづくり地域協働プログラム)

概要：子どもたちが提案した「まちづくり事業」に10万円を上限として支給する。

目的：子どもたちが、地域の大人と一体となって取り組む事業を推進することで、郷土愛と協働意識をはぐくむ。

実施状況

- ・ポイントは、提案を地域まちづくり委員会に提案するということ（通称：まち協）

＜事例＞

「倉橋中学校壁画作成」事業

「チリメンPR子ども大使チリメンジャー」事業

「安浦力キPR大作戦！」

視察内容

(2)「定住促進事業(新婚・子育て世帯定住支援事業、移住希望者住宅取得支援事業)」について

概要：①呉市空き家バンク事業…

呉市内に住まいをお探しの方と空き家・空き地を所有されている方との橋渡しを行う。

②新婚・子育て世帯定住促進事業…

基本額30万円+加算額10万円

③移住希望者・住宅取得支援事業…

基本額50万円+加算額（最大100万円）

経過と課題

- 対象区域を島だけから市内全域に拡大した。
- 空き家を4段階に区分した。
- 不動産業者と相互協力し、HP上で宅建協会とリンクしている。
- 実績が当初予定より少なく、予算が減ってきている。
- 車が入らない物件が多い
- 坂の上にあるので、
手入れが行き届いていない物件が多い



視察を終えて

- **浜田市**・・・事業そのものの視点は、他市に例をみない取り組みである。事業の実績からみると、移住者合計で26名で、直接的な効果はあまりないが、当時の報道効果や他の事業への間接的な効果がみられる。
- **呉市**・・・子どもまちづくり事業は、地域との協働を行う子どもたちが、次世代を担う人材として育つ期待が込められている。定住促進につながる事業は、財政的措置ももちろんであるが、移住後のケアも大きな課題である。